

福山城築城 400 年記念協賛事業

特別展「名刀 江雪左文字—江雪斎、家康、頼宣が愛した刀の物語—」



国宝《太刀 銘筑州住左（号江雪左文字）》南北朝時代（14世紀）ふくやま美術館蔵（小松安弘コレクション）

開催概要

ふくやま美術館が所蔵する国宝「江雪左文字」は、南北朝時代に筑前国の刀工である左文字によって作られた太刀で、戦国時代に北条氏の武将であった板部岡江雪斎の愛刀として知られています。のちに江雪斎が徳川家康の家臣となったため、家康の所有するところとなり、さらに家康は、十男である徳川頼宣に「江雪左文字」を与え、頼宣はこの太刀を佩刀して大坂冬の陣の初陣に臨んだと伝えられています。その後、頼宣が紀州藩の初代藩主となったこともあり、紀州徳川家では、初代頼宣の佩刀として「江雪左文字」を大切に守り継いできたようです。1933年（昭和8年）には旧国宝に指定され、1934年（昭和9年）まで紀州徳川家に伝わっていましたが、ついに売却され、長尾美術館の所蔵となりました。その後、福山市名誉市民である小松安弘氏の所有となり、2018年（平成30年）にふくやま美術館に寄贈され、現在に至っています。

このように、有名な武将の手を経てきた「江雪左文字」の伝来経緯は、それ自体が伝説的で、一つの太刀が、天下の名刀となっていく過程を如実に物語るものです。一方で、刀剣は、ときに贈答品として用いられることもあれば、所有者に合わせて「カスタマイズ」されることもあるなど、持つ人の思い入れや、美意識をあらわすものともいえるでしょう。この特別展では、かつての持ち主たちが愛した品々とともに「江雪左文字」を展観し、「江雪左文字」やその付属品からわかることを丁寧に検証しながら、この太刀に秘められた物語を紐解きます。

展覧会情報

展覧会名 福山城築城 400 年記念協賛事業 特別展「名刀 江雪左文字—江雪斎、家康、頼宣が愛した刀の物語—」

会 期 2023 年 2 月 4 日（土）～ 3 月 19 日（日）

休 館 日 月曜日

開館時間 9：30～17：00

会 場 ふくやま美術館 1階企画展示室（広島県福山市西町二丁目 4-3）

観 覧 料 一般 1,000 円（800 円） 高校生以下無料 ※（ ）内は前売りまたは有料 20 名以上の団体料金

主 催 （公財）ふくやま芸術文化財団 ふくやま美術館、福山市、中国新聞備後本社

お問い合わせ：ふくやま美術館

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目 4 番 3 号

TEL 084-932-2345 FAX 084-932-2347

E-mail：art2@city.fukuyama.hiroshima.jp



特別展「名刀 江雪左文字—江雪斎、家康、頼宣が愛した刀の物語—」

● 展示構成 ●

1 章 名刀由緒 板部岡江雪斎と江雪左文字

2 章 名刀献上 徳川家康と江雪左文字

3 章 名刀参陣 徳川頼宣と江雪左文字

4 章 名刀秘蔵 紀州徳川家と江雪左文字

5 章 名刀流転 愛刀家たちと江雪左文字

総出品数 53 点 (予定) うち 国宝 9 点、国重要文化財 11 点

● 関連イベント ●

1) 記念講演会「徳川頼宣の初陣具足と江雪左文字 —家康が託した思いとともに—」

講師：安永 拓世 (東京文化財研究所・広領域研究室長)

日時：2023 年 2 月 5 日 (日) 14:00 ~

会場：ふくやま美術館 1 階ホール

定員：100 名

* 事前応募不要、先着順、聴講無料

2) 学芸員による講演会「名刀 江雪左文字—失われた付属品を求めて—」

講師：月村 紀乃 (当館学芸員)

日時：2023 年 2 月 26 日 (日) 14:00 ~

会場：ふくやま美術館 1 階ホール

定員：100 名

* 事前応募不要、先着順、聴講無料

3) ワークショップ・短期実技講座 A 「わたしの香り袋づくり〜家康も愛した香木の世界〜」

江雪左文字を所有した徳川家康は、大のお香好きでもありました。家康にあやかり、様々な種類のお香を調査して、自分だけの香り袋を作ります。

講師：高橋 良昌 (高橋佛壇店 店主)

日時：2023 年 2 月 18 日 (土) ①10:30 ~ 11:30 ②13:30 ~ 14:30

会場：ふくやま美術館 2 階 工芸版画室

受講料：1,000 円

定員：各回 15 名 * 応募者多数の場合抽選

対象：高校生以上

応募方法：往復ハガキまたは市 H P 電子申請システム (1/2 (月・休) から受付開始) に「イベント名」「郵便番号」「住所」「電話番号」「名前」「参加希望時間」を記入し、ご応募ください。

* 1 通につき 1 名

応募締切：2023 年 1 月 31 日 (火) 必着

応募先：〒720-0067 広島県福山市西町二丁目 4 番 3 号 ふくやま美術館

4) 学芸員によるギャラリートーク

日時：2023 年 2 月 11 日 (土・祝)、3 月 5 日 (日)、3 月 12 日 (日) 各日 14:00 ~

会場：ふくやま美術館 1 階企画展示室

* 事前応募不要、特別展観覧券が必要

1 歴代の所有者に注目！ 画期的なテーマ

「江雪左文字」は、名だたる武将たちの手をわたってきた名刀として知られています。号の由来となった板部岡江雪斎 (1537-1609)、数多くの刀剣を所有した徳川家康 (1543-1616)、「江雪左文字」を帯びて初陣に臨んだとされる徳川頼宣 (1602-1671) ……こうした歴代の所有者たちはどのような人物で、彼らにとって「江雪左文字」はどのような存在だったのでしょうか。

たとえば、徳川頼宣にとって「江雪左文字」は、幼いころに父徳川家康から譲られた刀です。13歳の頼宣が大坂の陣で初陣を迎えるにあたり、「江雪左文字」を佩用して出陣したと伝えられることから、本展では、頼宣が着用したとされる「初陣具足」とともに「江雪左文字」を展示し、400年前の戦に思いを馳せます。

また、頼宣が初代藩主となった紀州徳川家では、藩祖頼宣ゆかりの家宝として、近代にいたるまで、「江雪左文字」を大切に保管してきました。紀州徳川家の家老が記した日記からは、「江雪左文字」をめぐる人々の動きを読み取ることもできます。

本展では、歴代の所有者たちの人となり伝える資料や、彼らが所有した刀剣など、国宝9点、重要文化財11点を含む全53点(予定)の作品を展示。「江雪左文字」とともにあった人や作品を辿り、この1口の太刀が経てきた道のりを追体験する展覧会となります。



「北条五代記」江戸時代(万治2年(1659))
ふくやま美術館蔵



和歌山県指定文化財「紅地桃文様糸入緋陣羽織」
江戸時代(17世紀)紀州東照宮蔵



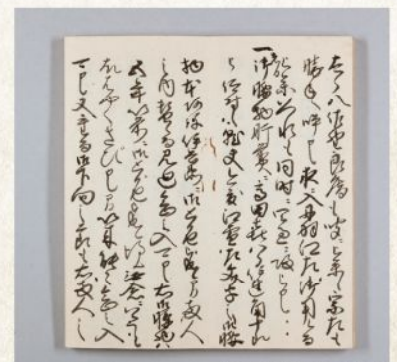
重要文化財「南蛮胴具足」
桃山時代(16世紀)紀州東照宮蔵



「短刀」
金粉銘富麻／本阿(花押)(名物上部当麻(城和泉当麻))
鎌倉時代(13世紀)個人蔵(群馬県立歴史博物館寄託)



和歌山県指定文化財「白地雲文緞子鎧下着」
江戸時代(17世紀)紀州東照宮蔵



和歌山県指定文化財
「紀州藩家老三浦家文書 江戸出府日記」
江戸時代(寛文3年(1663)10月3日)
和歌山大学紀州経済史文化史研究所蔵

2 運命の再会！ 頼宣所用の替柄と鐔

武士たちの必需品であった日本刀。それを収めるための「拵（こしらえ）」は、いわばファッションの一部です。所有者の好みによって、「柄（つか・握る部分）」や「鞘（さや・刀身を入れる部分）」が様々な飾られることもあれば、状況に応じてこれらの組み合わせを「カスタマイズ」することもありました。

現在、ふくやま美術館では、「江雪左文字」の拵 1 口と鞘 1 口を保管しています。このうち、拵については、江雪斎や家康が所有していた当時のもので、桃山時代に作られた古い拵と考えられます。しかし、資料を読み解いていくと、家康から「江雪左文字」を譲られた頼宣が、新たに 2 口の拵を作らせていたことが判明しました。ふくやま美術館にある鞘は、この拵のうちの 1 口だったのです。

そして今回、所在が分からなくなっていた、頼宣所用の拵の柄 2 本と鐔 1 枚が再発見されました。ご所蔵者のご厚意により、本展への出品が実現し、「江雪左文字」の刀身と拵、鞘、柄、鐔が再会を果たすこととなります。

刀身とともに替柄が残っている例は、ごくわずかししか知られておらず、このたびの展覧会は、刀剣愛好家や刀剣研究者にとっても意義深いものとなるはずです。



「黒塗鱧皮包鞘打刀拵」桃山時代（16世紀）ふくやま美術館蔵



「黒塗鞘」江戸時代（17世紀）ふくやま美術館蔵



「替柄」江戸時代（17世紀）個人蔵



「赤銅鐔」江戸時代（17世紀）個人蔵

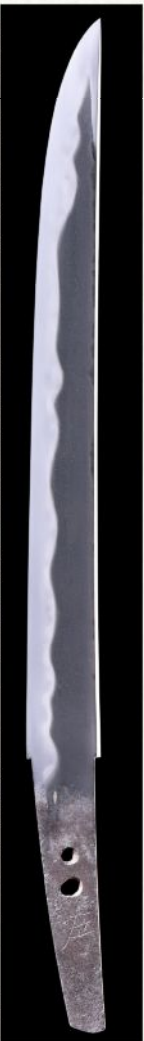
3 3年ぶりの大公開！小松安弘コレクションの日本刀

紀州徳川家を離れたのち、愛刀家たちのもとを転々とした「江雪左文字」ですが、福山市に本社を置く株式会社エフピコの創業者、小松安弘氏の所有となり、2018年(平成30年)にふくやま美術館に寄贈されることになりました。

小松氏が収集した刀剣は、国宝7口、重要文化財6口を含む、きわめて質の高いコレクションで、ふくやま美術館では「小松安弘コレクション」として定期的に公開をおこなってきました。

本展では、小松安弘コレクションの日本刀14口を、それぞれの拵とともに全期間展示。2019年(令和元年)度の冬季所蔵品展以来となる全点公開です。

国宝「短刀 銘左 筑州住(号しゅらく(太閤左文字))」南北朝時代(14世紀) ふくやま美術館蔵(小松安弘コレクション)



国宝「短刀 銘国光(名物会津新藤五)」鎌倉時代(13世紀) ふくやま美術館蔵(小松安弘コレクション)



国宝「太刀 銘吉房」鎌倉時代(13世紀) ふくやま美術館蔵(小松安弘コレクション)



国重要文化財「太刀 銘国清」鎌倉時代(13世紀) ふくやま美術館蔵(小松安弘コレクション)



国宝「太刀 銘正恒」平安時代(11~12世紀) ふくやま美術館蔵(小松安弘コレクション)

